

平成 30 年度 第 2 回総合診療医検討委員会

議事録

開催日時 平成 30 年 10 月 12 日（金） 18 時 00 分～20 時 00 分
開催場所 東京国際フォーラム D301
(東京都千代田区丸の内 3-5-1 D301)

出席者 委員長 羽鳥 裕
委員 有賀 徹、石松 伸一、井上 健一郎、金丸 吉昌、北村 聖、
清水 貴子、清水 俊明、園田 幸生、野村 英樹、邊見 公雄、
前野 哲博、山田 隆司、渡辺 毅
オブザーバー 監 事 松原 謙二

事務局 栄田 浩二 他

欠席者 今村 聡、南学 正臣、草場 鉄周、竹村洋典、横山 彰仁

議 題

1. 総合診療研修プログラムの申請について

1) プログラムの取り消しについて

の 2 プログラムから、指導医の退職などにより、プログラムの取り下げの申し出があり、審議の結果、承認された。

2) 医療資源の乏しい地域

医療資源の乏しい地域については議論があるのは承知しているが、今回に限り、当該施設が所在する二次医療圏の人口 10 万対医師数が全国平均を上回るプログラムについて、プログラム責任者の作成した理由書をもとに個別に検討を行った。その結果、宇都宮、横浜南部地区を「医療資源の乏しい地域」とするプログラムについては、修正を求めることとし、それ以外のプログラムについては申請通り承認された。

3) 希望定員数について

都道府県別の希望定員数について、協議の結果、もし内定者が大幅に増えた場合は調整することを条件に、すべて申請通り承認された。

2. 審査書類について

プログラム申請書類の再確認書類案について、2016 年に審査した際のマニュアルや評価シートをベースに、整備基準の改訂にあわせて修正した案をベースに議論を行った。出された意見をとりまとめて委員長が最終的なものを作成して、プログラム審査を行う

ことになった。

3. 総合診療専門研修プログラム Q & A

以前に作成された Q&A を修正したものをもとに議論が行われた。出された意見を取りまとめて、委員長が最終的なものを作成することになった。あわせて、今後ホームページで公開することが確認された。

4. 委員について

1) 委員会委員について

日本病院総合診療医学会および日本臨床内科医会からの要望書を踏まえて検討した結果、各団体の推薦に基づき、日本病院総合診療医学会からは、田妻進先生、日本臨床内科医会からは、菅原正弘先生が委員に就任することが承認された。

2) プログラム審査委員について

今年度申請のあった 408 の総合診療プログラムについて、申請書類に基づいて審査を行うこととなり、審査委員として委員から推薦のあったプログラム責任者のご協力を頂くこととなり、現時点で推薦のあった審査委員候補者のリストが提示された。今後は、委員長の判断で委員の追加、変更等があることも含め説明があり承認された。

5. 意見書

女性の専攻医が育児等の事情により、へき地研修が難しいため、例外的に東京で研修を行いたい旨の意見書が提出された。協議の結果、詳細がわからないため、総合診療事務局からプログラム統括責任者に連絡を取り、具体的な代替案も踏まえてさらに情報を集めたうえで改めて判断することとなった。

6. 総合診療に関する問い合わせについて

1) 鹿児島県からの質問について

メールでの返信は行われていたが、文書での回答が行われてなかったため、回答文書について送付したことが報告された。プログラムの弾力的な運用については、研修の質を担保する目的から、具体的にどのような工夫をしたかを定期的にモニタリングすることとなった。

2) 質問について

事務局に届いている質問等について一覧表が確認され、速やかに回答できるように対応していくこととなった。

7. 総合診療版 J-OSLER について

総合診療版 J-OSLER の進捗状況についての報告とシステムを使用するにあたっての J-OSLER での指導医の役割などについて説明があり、確認が行われた。また、総合診療領域として「利用料」をプログラムあるいは専攻医から徴収するか否かについて議論

が行われた結果、内科領域などの状況を確認し、機構理事会、厚労省とも相談しつつ次回委員会で再検討をすることとなった。

8. その他

次回委員会は、平成30年11月16日（金）14：00～15：30

次々回委員会は、平成30年12月21日（金）14：00～15：30
の予定が確認された。

以上